

ピエゾグラフによる

# いわさきちひろ展



はなぐるま 1967年

2025 3/29(土) ~ 5/6(火)

開館時間 午前9時30分~午後5時  
 休館日 木曜日  
 会場 MIZKAN MUSEUM 内 MIM ホール  
 所在地 愛知県半田市の中村町 2-6  
 アクセス 名鉄河和線「知多半田」駅下車、徒歩13分  
 JR武豊線「半田」駅下車、徒歩3分  
 知多半島道路「半田中央I. C.」または「半田I. C.」より15分

入場料 無料(事前予約不要)  
 主催 MIZKAN MUSEUM、ちひろ美術館  
 後援 半田市教育委員会、中日新聞社  
 お問い合わせ 0569-24-5111  
 ※MIMの通常見学コースは有料・事前予約が必要です。

MIM



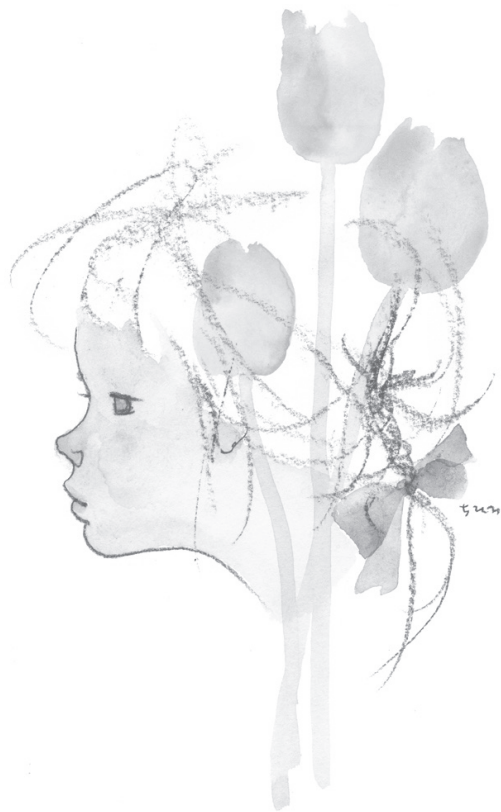
ピエゾグラフによる

# いわさきちひろ展

— 花と子ども —

「花と子どもの画家」といわれるいわさきちひろ。ちひろは、絵本や絵雑誌、カレンダーなどの絵に、子どもとともに四季折々の花を数多く描いています。チューリップ、バラ、スイートピー、あやめ、あじさい、ひまわり、ききょう、シクラメンなど、その数は実に 80 種以上におよびます。庭で草花を育て、いつも花に囲まれて暮らしていたちひろにとって、花は心を寄せて慈しむ対象であり、“いのち”の象徴でもあったのでしょうか。花と子どものイメージを重ね合わせ、やわらかな水彩でみずみずしく描き出しました。

本展では、季節の花と子どもを描いた代表作や花とあかちゃん、絵本『おやゆびひめ』など、ちひろの作品 30 点をピエゾグラフにて紹介します。生命が芽生える春の季節に、ちひろの彩りあふれる花の絵の数々をお楽しみください。



チューリップのある少女像 1973年

## 関連イベント MIM内

### ちひろ美術館学芸員によるギャラリートーク

3/29(土) 4/26(土)

①10:30～ ②11:30～ ③13:30～ ④14:30～

入場無料・整理券先着配布(お1人様につき1枚)

※各回30分前にMIMにて整理券を配布いたします

【各回定員20名】

### ちひろの水彩技法ワークショップ

3/29(土) 4/13(日) 4/27(日) 5/5(月)

①11:00～ ②13:00～ ③15:00～

(所要時間 1 時間程度)

参加無料・整理券先着配布(お1人様につき1枚)

※各回30分前にMIMにて整理券を配布いたします

【各回定員5名】

### ピエゾグラフについて

ちひろ美術館では、2004年より、その時点の作品の状態をデジタル情報として記録し、保存していくアーカイブを続けてきました。同時に、そのデジタル情報をもとにして、「ピエゾグラフ」を制作しています。ピエゾグラフとは、耐光性のある微小インクドットによる精巧な画像表現で、ちひろの繊細な水彩画を高度に再現しています。

## いわさきちひろ (1918～1974)

福井県武生(現・越前市)に生まれ、東京で育つ。

東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。1950年、紙芝居「お母さんの話」を出版、文部大臣賞受賞。

1956年小学館児童文化賞、1961年産経児童出版文化賞、1973年『ことりのくるひ』

(至光社)でポローニャ国際児童図書展グラフィック賞等を受賞。代表作に

『おふろでちゃぶちやぶ』(童心社)、『あめのひのおるすばん』(至光社)、

『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)などがある。



1973年4月(54歳)